



松浦武四郎記念館

巻頭のことば	
巻頭のあいさつ 三重県議会議員 山本 勝	1
年頭あいさつ	
2012年頭の挨拶 会長 田端 隆	2
特集	
建築士としての防災への取り組み方 伊勢支部 濱出 進	3
建築士事務所キャンペーン	
2011建築士事務所キャンペーン 四日市支部 瀬川 宏	4
目安箱	
SNSで繋がりましょう! 松阪支部 伊藤 達也	8
伊勢神宮 伊勢支部 和田 敏男	8
地震と防災 志摩支部 向井 照雄	9
今思う事 伊賀支部 稲沢 守次	9
支部ひろば	
桑名支部	10
津支部	10
鈴鹿支部	11
四日市支部	11
事務所紹介	
TAP'S(タップス)一級建築士事務所	12
株式会社オカトモ nobプランニング一級建築士事務所	12
伊藤薫建築設計事務所	13
丸亀一級建築士事務所	13
シンポジウム	
23年度みえ地震対策の日	14
お知らせ	
平成23年度 年次功労者表彰 建築士事務所全国大会に向けて	15
視点・論点	
四日市支部 瀬川 宏	16



巻頭のあいさつ

三重県議会議員 山本 勝



三重県建築士事務所協会の会員の皆様方におかれましては、益々ご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより、建築主のよきパートナーとして専門的な立場からアドバイスをする一方、トラブル解決にも尽力されていることに心より感謝申し上げます。

貴協会は、建築士事務所の業務の適正な運営及び健全な発展並びに建築士事務所の開設者に設計等を委託する建築主の利益の保護を図り、もって建築文化の向上及び公共の福祉の増進に寄与することを目的とし、昭和55年に三重県建築設計監理協会として設立されたとのことです。

昭和63年には日本建築士事務所協会連合会に加盟、その連合会が平成24年には創立50周年を迎えるそうです。日本の建築設計を牽引して半世紀、連合会の区切りの年になる平成25年8月には、この三重県において第37回建築士事務所全国大会が開催されると聞き及んでおります。

すでに三重県協会内の全国大会準備委員会で準備が進んでいるとは思いますが、協会をサポートする議員の一人として私も全面的にバックアップさせていただきたいと存じます。

さて、建築士事務所の役割と社会的責任の中には「その職能を通じて人々の生命と財産の保全を行う」という一項があります。平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、私達日本人の心に忘れることができない衝撃を残しました。被災地では、その生命と財産が一瞬のうちに消え去りました。

この三重県においても大震災は他人事ではありません。東海地震、東南海・南海地震など、いつ起きてもおかしくない状況にあります。

貴協会におかれましては、直近の要望聞き取り会において「公共建築物及び民間建築物の耐震化促進」を強く要望されております。これが東日本大震災の発生をうけての要望ではなく、長年にわたり貴協会が指摘され続けてきたことは、県議会はもちろん、県当局もよく承知しております。

三重県ではこれをうけて平成18年度に「三重県耐震改修促進計画」を策定、平成27年度末までに「耐震化率9割」を目標に掲げて支援制度を充実させておりますが、さらに前倒しすべく議会・当局一体となって推進、建築文化の向上や公共の福祉増進に尽力してまいりたい所存です。

最後になりましたが、貴協会の益々のご発展と会員の皆様方のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、巻頭の言葉とさせていただきます。



2012年頭の挨拶

会長 田 端 隆



会員の皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は協会運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は東日本大震災、さらには台風12号による本県への大きな被害という大きな災禍に見舞われ、福島県で予定されていた全国大会も中止となりました。被災された方々には心よりお見舞い申し上げます。また、復旧復興のために関係者の皆様さぞかしご奮闘のことと存じます。十分ご自愛いただきますようお願いいたします。

東海、東南海、南海の地震も最近の研究では予想を大きく上回るものになる可能性もあると、また3連動だけでなく4連動以上の地震も想定されるということも報じられる中、県内の建築物特に民間の建物の耐震化はまだまだ進んでいない状況であると思われま。

私たち建築士事務所は、社会の安全安心の確保に直接かかわるプロとしての職務を担っています。その一つである建築物の耐震化業務においては、想定外のことへも対処し、まちを守り、社会の絆を守るという役割を再認識して業務を行う必要があると思えます。

特に、建築士事務所の団体として県民の「安心、安全」という観点から、行政にも民間建築物等の耐震化施策の推進を働きかけていく必要があると思えます。

また、平成3年のバブル崩壊より早20年を迎えましたが、その後のさらなるリーマンショック以来、本県に於いては未だ景気は低迷を続け、会員の皆様の経営環境は依然厳しい状況であるものと存じます。

当協会においても、財務状況は厳しいものとなる事が予想され、社会構造の激しい変化の中、運営自体も大きな変革が迫られる状況となっています。

しかし協会といたしましては、会員の資質の維持向上、会員の業務・経営サポート、消費者保護等の業務は継続しつつ、経費節減に努めていくと共に常に新しい施策、新たな事業を開拓し実践していかなければならないと考えております。

まず早急に取り掛からなければならない事業としては、さらなる会員増強活動に取り組む必要があります。業界関係者の高齢化、若者の建築士事務所離れにより、特に専門の建築士事務所の存続の危機に至る前に早急な対策を考え、建築士事務所数の約30%（400社）を目標として会員増強を図りたいと思えます。

しかし、これらの活動については会員の皆様のご協力なしに達成できるものでは有りませんので、よろしくをお願いいたします。

また、日事連も新法制度（建築士事務所法（仮称））の取り組みをしており、各県協会、各会員の皆様はその目指すところ、必要性を認識し建築主や建築業界、国民の理解と賛同の上で制定を運動展開していく必要があります。

このためには、改正建築士法を基に、業務の書面による契約、事務所管理の徹底、不当に低い金額での契約禁止など新法制度制定以前に遵守していく必要があります、そのことが、各方面の理解と支持を広げることとなると思えます。当協会会員の皆様におかれましてもご理解ご協力をお願いいたします。

さらに、大きな変革として本年4月1日には当協会は、一般社団法人として新たな法人として発足する予定です。当協会の基本姿勢は変わりませんが、会員の皆様とともに新たな気持ちで協会運営に取り組んでいきたいと考えておりますので、是非とも、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

結びに、本年の干支は辰年で有りますが、竜頭蛇尾とならないよう、昇竜を目指し努力してまいりますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げますとともに、会員の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈りいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

建築士としての 防災への 取り組み方

今年4月16日から「美し国おこし・三重さきもり塾」入門コース第2期生として、鈴鹿支部 新開氏とともに三重県建築士事務所協会から派遣されている。

私の場合、平成7年1月の阪神淡路大震災で、或る組織の被災状況を調査するように依頼され、震災現場に立ったのである。その時はまだ、応急危険度判定士なるものの知識もなく、壊滅した町を都市ガスと舞い散る埃の臭いを嗅ぎながら目的建物を探して彷徨うだけであった。

しかし、その環境に慣れるに従い、構造は専門外であるが、倒壊した建物をつぶさに観察すると、はるか昔に教えて頂いた構造理論に基づき破壊される事実に感動し、恐れを抱いたものである。

その後、三重県でも公共建築物の耐震診断・耐震補強・木造住宅耐震診断・応急危険度判定士・被災度区分判定講習会が実施され、来るべき東海地震・東南海地震への備えが加速された。

個人的には、平成16年10月の新潟県中越地震・平成19年7月の新潟県中越沖地震に応急危険度判定士として派遣されたが、被災現場では、新たな知識を得る事が出来たのは有難かった。

受講している「さきもり入門コース」は、前期「地域防災学総論Ⅰ」5回・後期「地域防災学総論Ⅱ」5回だけであるが、一般には報道されていない事実を教えて頂いている。

さらに、私の場合、防災とは建築物の耐震診断・耐震補強業務が建築士に重大な役割と考えていたが、さきもり塾での講義では「目から鱗・・・」と申すべきか、真に今まで教えられていた防災に対



する知識を覆す講義を頂いている。例えば、災害とは、人間にとっては耐えられがたい災いであるが、学者の目から見れば「地震・津波・台風が起こると言う事は地球が生きている証拠です。台風は大気の澱みを無くし、海の攪拌を行い海水に酸素を送り込み、また人間に生活する水を与えて下さる。洪水は、自然界や人間が堆積した地上の掃除です。そういう現象のものが地殻変動にあります。ですから災害・災害と言いますが、これらが無くなれば地球が死ぬ時であり、人類滅亡は免れません」と教えて頂いた。この事を踏まえると、地球に住む限り災害からは免れる事は出来ないのだから、災害を防ぐ方策を考えるのは一番重要である。しかし、災害が起これば、災害に合わせ、限られた避難所の空間の中で、疲労の蓄積が軽減され、過ごしやすい生活の場が必要となるのはもちろん、災害医療・治療現場が非常に大切となって来る。そして、それらの空間設計に必要なのは、建築士として培われてきた経験が非常に重要視される事が分かった。

三連動地震が起これば、怪我無く生き残れる確率は非常に少なくなると脅されましたから、一人でも多くの建築士が、必ず起こる大災害を認識し、役割を果たしていけるように、この講座を受けて頂きたいと思います。

伊勢支部 濱出 進

【写真等提供 三重大学ホームページより】



2011 建築士事務所キャンペーン



■ **日 時** 平成23年11月3日
 午前10時～午後3時
■ **来場者数** 約180名（絵を描いた人数）

2011年の建築士事務所キャンペーンは、全国統一テーマ「わたしたちは安全・安心な住まいづくりを応援します」を掲げ、三重県、菰野町及び菰野町教育委員会の後援を受けて11月3日に開催しました。今回は三重県菰野町の産業文化祭のイベントの一つとして参加させていただきました。今回のキャンペーンは東日本大震災の後でもあり、耐震診断の重要性とその後の耐震補強の相談に重点を置き、建築士事務所の役割等についてPRするとともに、サブテーマとして、小学生以下の児童を対象に「ぼくとわたしのすみたいおうちをかいてみよう」を掲げて取り組みました。

当日は天候にも恵まれ、朝早くから多くの方に来ていただき、子どもたちに家の絵を描いてもらうように用意したエコバック180もあっという間に無くなるという盛況さでした。また同行された父兄にアンケートの協力もしていただき、盛況のうちに終了することができました。

後日、広報渉外委員会により当日描いてもらったエコバックの絵の審査を行った結果、菰野町教育委員会教育長賞1点、（社）三重県建築士事務所協会会長賞1点と優秀作品7点について、表彰することを決定しました。

教育長賞と事務所協会会長賞の表彰は後日、当協会から会長等が学校に出向いて校長先生の同席のもと、表彰式を行いました。今回の企画は昨年担当の松阪支部が行った子供さんにエコバックに「家」に関する絵を描いてもらうイベントが好評であったことから、今回も実施しましたが、多くの父兄も来場していただき喜んで頂けたと思います。

子どもたちが自分の描いた絵の入ったエコバックを片手に元気に通園・通学してくれる事を願っています。

四日市支部 瀬川 宏



●メインテーマ● 「わたしたちは安全・安心な住まいづくりを応援します」

●サブテーマ● 「ぼくとわたしのすみたいおうちをかいてみよう」



菰野町教育委員会教育長賞
菰野小学校 5年生
近藤 麻央 さん



三重県建築士事務所協会会長賞
菰野小学校 3年生
あべき まお さん



表彰作品

(社)三重県建築士事務所協会

菰野町教育委員会教育長賞

三重県建築士事務所協会会長賞



近藤 麻央さん
菰野小学校



あべき まおさん
菰野小学校

三重県建築士事務所協会賞

幼稚園の部



速水 凌花さん
菰野幼稚園



小池 葉海さん
千種保育園



石田 敦也さん
菰野西保育園

小学校低学年の部

小学校高学年の部



水谷 伊吹さん
菰野小学校



坂 紀香さん
菰野小学校



清水 美希さん
鷺川原小学校



吉續 友希さん
菰野小学校

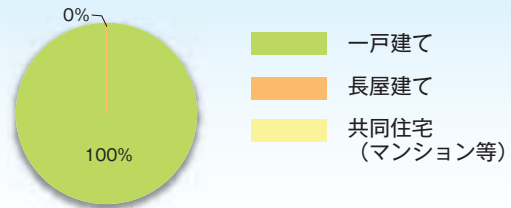


■ 建築キャンペーンご来場アンケート結果 ■

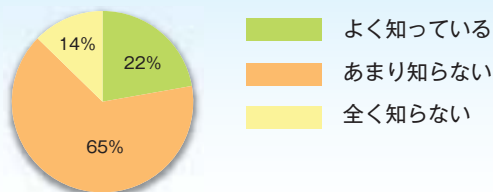
Q1① 住宅を建てられる（購入される）場合、どのような住宅が良いと思われますか？



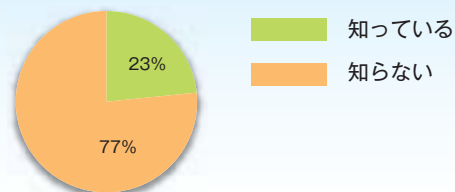
Q1② 住宅を建てられる（購入される）場合、どのような住宅が良いと思われますか？



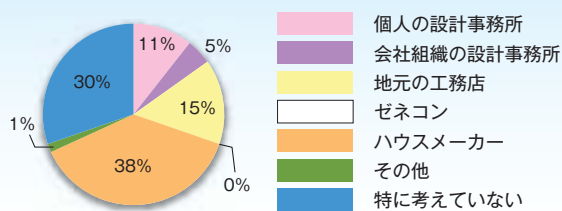
Q2① 設計事務所（建築士事務所）はどのような仕事をしているか知ってみえますか？



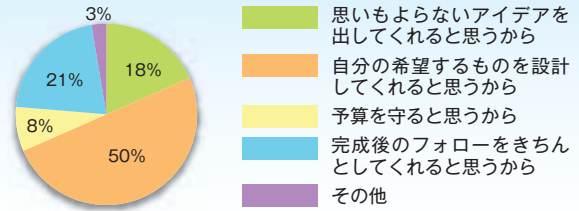
Q2② 建築主に代わって行う工事の内容チェック、検査などの工事監理の仕事は？



Q3① 住宅を建てられる場合、設計は誰にお願いしたいですか？



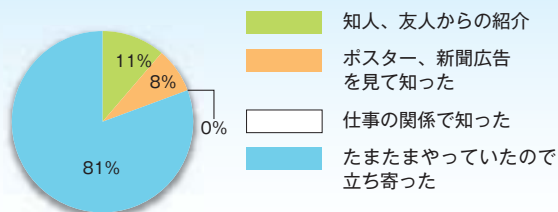
Q3② ①で設計事務所（個人、会社）を選んだ理由はどれですか？（3つまで選択可）



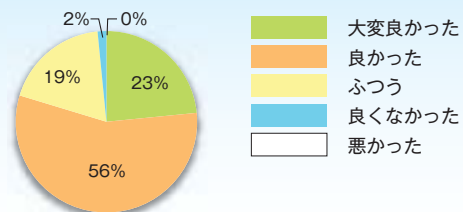
Q4③ ①で設計事務所（個人、会社）を選ばなかった理由は？（3つまで選択可）



Q5 今日の建築士事務所キャンペーンの催しはどこで知りましたか？



Q6 今日の建築士事務所キャンペーン催しの内容についておたずねします。





目 安 箱

SNSで繋がりましょう!

一級建築士事務所 設計工房 NEXT
 松阪支部 伊藤 達也

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)のtwitterに登録したのが2010年1月28日。友人の勧めで、興味本位で始めたものの、元来、パソコンも携帯電話のメールも、ブログの更新も得意ではなかったもので、十分使いこなせないまま、一応つぶやき続けた。

一年が経ち、3月11日とてつもない東日本大震災が起きた。ちょうど、三重県総合文化センターの会議室にいた時であった。ゆっくりと長い時間を感じるほどの横揺れに、「地震やな、揺れとるなあ。」と気づく人もいる様子。揺れが収まると、すぐさま仲間が携帯電話から、インターネットや、SNSに接続し、速報を入手してくれた。一通り会議が終わりに近づき、被害状況が次第に明らかになり、津波警報が国土を覆う現実に、日が暮れるのを怖く感じ、家路を急いだ。いつ来るか教えてくれないとてつもない大きな災害。一瞬で何もかも失ってしまう。家族の顔が浮かんだ。

伊勢神宮

和田設計企画室
 伊勢支部 和田 敏男

伊勢神宮、正式名称は「神宮」。三重県伊勢市にある皇大神宮(内宮)と豊受大神宮(外宮)の総称で、他に別宮など123ある。皇祖神・天照大神を内宮に祭る。社殿は唯一神明造りで、白木と掘っ立て柱によるかやぶき高床建物。式年遷宮は20年ごとに内宮と外宮、14の別宮の社殿と神宝、装束を全て同じ形で造り替え、神体を遷す祭儀。

大震災以降、SNSを通じての業界仲間ならではの被災地への応急危険度判定士の派遣情報から、災害ボランティア同士の頻繁なやり取り、原発関連、余震、最新状況を、投稿を競うように情報を共有できた。直接会えなくても電話で話さなくとも、つぶやけば、フォローしている人達には伝えることができる。遠くの友人達と常に思いを共有し合い繋がっているように感じられた。

そして、写真をアップするのはFacebookやに!と勧められ、2011年6月23日に登録してしまった。始めた頃は県外の同年代の友人が多かった。つい力が入ってしまい、様々な出来事から、仕事の状況や、写真等、何でも無いつぶやきを投稿したり、「いいね」をぼちっと押している。簡単に登録できるし、使い熟せてないレベルの私でさえ、これは使えると感じているので、毎日続けるのだと思います。人によってはデスクワーク時の眠気覚ましに効果的でもあるようです。今日も原稿を書いて一休み。ごく普通の当り前の時間に幸せを感じながら、パソコンの画面には、Facebookの画面が出ている。友達の投稿に、微笑みながら、ぼちっと「いいね」を押している。相変わらず、使い方や、活用の仕方は詳しく解りませんが、協会会員の皆さんもSNSで繋がりましょう。

天武天皇が制度化して以来、一時中断を挟みながら、1300年以上続くとされる。次の第62回は2013年で、05年から準備が進んでいる。

現在は2007年のお木曳の御用材にて神宮工作所で宮大工の手により社殿の造作が行われている。ここ伊勢の地では、2013年の遷宮、白石持ち行事への準備が着々と行われ、年明けと共に一斉に遷宮に向かって活気付いて来るでしょう。

〈日本の宝〉

古代から皇祖神の社として守り継がれ、近世には伊勢参りで膨大な民衆が集った伊勢神宮。昨今は超自然的な力を求める人も訪れ、去年はここ100年で最多の852万人が参拝した。



だが、伊勢は信仰者だけでなく、多くの識者を魅了してきた奥深い世界でもある。

論点の一つが建築だ。20年に一度、主な社殿を全て同形に造り直す式年遷宮が古代から続く。それがもたらす意味は何か、日本建築の原初を伝える建物なのか—そんな議論が幾度となく交わされてきた。2013年にはこの地に於いて建築士事務所

全国大会も開催されます。

朔日参りも朝5時前から大勢の人達（若者）で賑わっています。初詣又は朔日参りに一度足を運んで頂き、現代の社殿に何を読み取るか。歴史の深層を見る力を問いただしてみてもはどうでしょうか。

（一部伊勢新聞社説引用）



地震と防災

向井照雄建築事務所

志摩支部 向井 照雄

12月7日は「みえ地震対策の日」でした。

戦時下の昭和19年12月7日熊野灘を震源とする地震「昭和東南海地震」が発生し、激震とともに大津波が襲い三重県内に多くの被害をもたらしました。この被災から学んだ教訓を風化させることなく防災対策の充実を図る為に「みえ地震対策の日」を定めています。去年の3月11日の東日本大震災ではそれをはるかに超える被害となり大勢の人がなくなりました。同時に福島原発の事故発生による放射能被害に多くの方が現在不自由な避難生活を強いられています。日本は地震国で国土が狭く原発から数十キロ範囲で区切った周辺の人口は広大な土地に原発を建設しているロシア、米国などに比べかなりの数になるといいます。事故発生後、原発に対する意識が変わるのも当然です。先日、木造耐震相談会で海岸に近い所に住んでみ

える方に、地震発生時の避難場所・通路の確保についてお伺いしましたら、ご主人が体が不自由と一緒に避難するのは大変で、この場所からの移動は出来ないとのことでした。同席して頂いた市職員の方に、この様な状況時にはどのような対策をされているか伺いましたら、地域ごとの避難場所に移動するように勧めているとのことでした。地震災害の中で人的被害がもっとも多いのは建物の倒壊によるものとされています。一旦災害が発生しますとその犠牲者は災害弱者に向いていることが多く、地域ぐるみの防災対策が求められます。このような方を守る為公共機関及び地域の人々で支援する体制を整えていると思いますが、いつ起こるか分からない災害に対して今一度普段から地域の人たちとのコミュニケーションを大事にしていく必要があると思われま。私たち建築士事務所協会会員も地元の自治会等の防災会議に参加し、協力しあえる一員なればと考えます。地域住民のための災害時要援護者避難対策マニュアル作成指針も出ていますが防災において自助、共助、公助の三つの災害対応力を高めて互いに連携しあうことが必要と改めて思います。



今思う事

意匠計画

伊賀支部 稲沢 守次

本年度もいろんな出来事がありました。

そして、事あるごとに世の中の範となるべき立場の人達の無責任な言動がやたら目についてしまいます。本人にしてみれば、そう深く考えずに発しているのであろうが、言われた当事者にしてみ

れば、そのたった一言に傷つき、震えたつ位に憤りを感じ絶望感に立ち上がれなくなるくらいにうちのめされてしまうことがある。皆が皆、そんなに強い心を持った人間ばかりではないことを常に考え発言するようにしたいものだ。道徳心を忘れてしまった我こそがリーダーであると思っっている人たちに早く退いていただかなければ次のステージへは決して進めないのである。



桑名支部

桑名支部では隔年で賛助会員と協会員で研修と親睦をかねて旅行を実施しています。本年は、安藤忠雄氏で一躍有名になりました直島の地中美術館をメインに行いました。感想は様々ですが、さすがは安藤氏ということで参考にさせていただく部分がたくさんあり、また細部にまで心遣いがある建物だなと感心をいたしました。バス



金毘羅神社にて

のなかではいろいろと感想が述べられ、おのおの各自の受け取りがありました。旅館では懇親会を行い年配から若い人まで話に花が咲き深夜まで楽しいひと時を過ごしました。日頃はなかなか話し合う機会が少ないので良い機会になったのではないかと思います。一層と参加会員の絆が深くなったように思われ今後もこの様な企画には参加したいものです。



栗林公園

津支部

私こと、建築士事務所協会津支部の支部長に就任させていただき早2年の任期も残すところ、僅かとなってまいりました。協会本部の理事としてまた津支部の支部長として会員各位、事務局職員には、心強いご指導、ご協力を賜りましたことに対して紙面上ではありますが、感謝申し上げます。

さて、この2年間、前半1年は、大過無く無事終わりましたが後半1年つまり今年は、3月11日に起こったM9と言う千年に一度の大地震が、その後、未曾有の大津波が、東日本を襲い、その影響が、徐々に日本全体へと広がり現在の様な我々業界にも寒波が、吹き荒れつつある状況です。その大地震の当日私は、所用でサイパンに滞在しておりましたが、現地時間の午後4時ごろ（日本時間午後3時ごろ）ショッピングセンターで買い物をしていたら店員が、今すぐ店を閉店しますと言われて如何してかと聞くと先ほど日本で大地震が発生し、北マリアナ連邦政府から津波警報が、出ましたとのことで、その地震を知り、急いでホテルに戻るとフロントより滞在者は、全員ホテルの5階以上に避難して下さいと連絡があり、部屋に帰って外を見ると全ての建物は、シャッターが降ろされ一人一人の姿も見ることができないほど徹底しており、その対応の早さには、驚かされました。日本も地震発生と同時に大規模な津波警報を出していれば多少なりとも人命が、守られたのではと思います。そしてその後の東京電力福島第1原発の事故、それも対応の遅さ、悪さにより被害が、拡大していったことは御承知の通りです。

この様な年の中で一番残念な事は、日事連が予定していた福島県全国大会が、中止となり、津支部内でその企画に便乗して2泊3日の東北地方への研修にという予定を前年に立てたのですが、それも中止となり支部役員会で思い切って何年かぶりに1泊の研修をとなり、実施することが決定。協会賛助会員でもある誠文社さんの金田津営業所所長さんのご紹介で11月13日（日）から14日（月）にかけて岐阜県高山市の飛騨産業さんを視察させていただくことになり、日本でも有数の伝統工芸である飛騨家具の製造過程を参加者全員感激しつつ予定時間があるのも忘れ見学を終了。もちろん前日13日の夜は、恒例の懇親会も大変な盛り上がりとなって出席者全員の意見として予算が、許すのならば来年も是非研修会を実施して頂きたいとの要望を付け加えて支部の広場の1ページと致します。



鈴鹿支部

鈴鹿支部では6年前より、支部会員間同士の親睦を図る目的として、毎年7月に「バーベキュー大会」を開催しています。会員だけではなく、会員の家族・スタッフも参加OKで、今年も小さな子供さん連れで多数参加して頂きました。

「バーベキュー大会」終了時には「立つ鳥後を濁さず」で、参加者全員で片付タイム。

ゴミの分別、食器の片付、火の後始末等々。ゴミは全て持ち帰ります。



支部会員がPM 4:00頃より炭を熾し各自準備にかかります。



新旧会員を問わず毎年、多数参加して頂いています。

その他

6月、11月

鈴鹿市役所において建労鈴鹿支部主催「住宅なんでも相談会」に参加し、市民の方のいろんな相談を行いました。又亀山市、鈴鹿市建築指導課の方に来ていただき、各法律等の勉強会を行っています。



ビール片手に和気合い合い、アルコールもまわり、新旧会員の垣根無く会員の交流の場に。

四日市支部

会員数 25社 (平成23年12月1日現在)

事務局 〒510-0008 四日市市栄町4番1号

TEL・FAX 059-354-1978

平成23年度 支部総会 4月28日(木) PM 5:30～
四日市文化会館にて、事業報告・収支決算報告等

平成23年度 例会

4月28日(木) PM 5:00～

6月21日(火) PM 6:00～

8月25日(木) PM 6:00～

10月27日(木) PM 6:00～

他 10月1日(土) 支部 研修旅行(長谷寺、曾爾高原)

11月3日(木) 建築士事務所キャンペーン(菰野中学校(本部行事))

12月2日(金) 支部 忘年会



曾爾高原



●四日市支部●

TAP'S(タップス)
一級建築士事務所

- 所在地：〒510-8016 四日市市富州原町10-6
- TEL：059-361-1616
- FAX：059-361-1717
- 代表者：堤 久夫
- 設立：平成14年4月



事務所外観

高校より建築を学び始めて、はや33年をむかえます。大学卒業後、千葉・東京・京都・静岡で、主に数寄屋住宅の設計担当として11年間過ごし、故郷四日市へ戻りました。帰省後5年間は、地元ビルダーで管理建築士を務め、約10年前に独立開業しました。事務所は、自宅脇に構えて営んでおりましたが、一昨年その場所を改修して両親を迎えることになり、偶然縁のあった現在の場所に移転しました。

今後は、建築設計に研修・研鑽することはもとより、ご指導いただいた先生方、諸先輩、そして多くのお施主様へのご恩返しとして、僭越ではございますが、建築設計を志す若い人たちの力にもなりたいと思っております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



作品(天聖院)

事務所
紹介

- 所在地：三重県鈴鹿市神戸6-11-9
- TEL：059-382-7899
- FAX：059-383-6290
- 代表取締役：岡村 信之
- 設立：平成21年10月1日

●鈴鹿支部●

株式会社オカトモ
nobプランニング
一級建築士事務所

一昨年、創業129年となります親元の会社と併合し、新たなスタートを致しました。建物を移動させる曳家と沈下した建物の嵩揚・寝起し工事を専門に行っております。斜陽の業種で、三重県では唯一の専門家と聞いておりますが、最近



寺院の鐘楼 移設工事
地盤沈下による傾斜があり新設した杭基礎の石垣へ移築

では築100年を超える古民家再生や国宝・重要文化財の寺社修復・移設保存にと携わらせていただいております。



築117年の旧家を移築し 古民家再生

30年余り建築設計業務にて関わってきた木造の知識と経験をもとに粉骨砕身努力中です。

今では、床下を這い、天井を駆け回る設計士兼曳家職人として、少々板についてまいりました。



- 所在地：津市高茶屋4丁目32-29
- TEL/FAX：059-235-2341
- 代表者：伊藤 薫
- 設 立：平成23年9月16日

●津支部●

伊藤薫建築
設計事務所

私は18年間、四日市に有りますY建築設計事務所にて建築に関しての勉強をさせて頂き、9月に事務所を設立する事に至りました。

私が建築に対しての思い又は考えは、【美】とゆう表現です。建築も人間と同じ、美しさ、色気の有る物だと考えております。いかに美しく、色気の有る建築物を設計できるか！常にそれを



表現し、たかが1mmされど1mmの世界にて、自分の中での【美】が崩れるか、美しさを倍増できるか。とゆう考えの元、建築設計に挑んでおります。

女性だからこそ出せる表現を力一杯発揮し、シャープの中にソフトな面を生かし強弱の有る建築物を、これからも設計していきたいと思い、日々勉強の毎日です。

現在の建物は、本来の建築を変えつつ有る現象が多々有りますが、昔ながらの建築の良さ、工法も現在にも生かして、人間同様呼吸の出来る建築物の伝統を大切に【美】とゆう物を取り込みつつ、これからも頑張っていきたいかと思っております。

事務所
紹介

●松阪支部●

丸 亀 一 級
建築士事務所

- 所在地：松阪市高町450-1
- TEL：0598-53-9111
- FAX：0598-53-9119
- 代表者：竹上 亀代司

当事務所は丸亀一級建築士事務所として昭和56年10月に開設し早くも設立30年を迎えました。地元は元より県内各地での活動をおこなってきました。今後も30年間の蓄積されたノウハウを生かしより一層、質の高い設計、監理業務を建築主の皆様提供していきたいと思っております。





23年度みえ地震対策の日シンポジウム

日時：23年12月4日（日）
AM10:00～PM5:00

場所：メッセウイング・みえにて

「みえ 地震対策の日 シンポジウム」が開催され、当協会が今年は参加いたしました。

会場内には沢山の催し物がありました。

当協会では、耐震無料相談会、耐震工事PRパネル展示、バルーンアート、当協会PRパンフレット配布を行いました。



●ブースを訪れた
鈴木知事

なっとくステージゾーン

- 10:00～ オープニング
- 10:30～ 海賊戦隊ゴーカイジャー ショー
- 11:20～ なまず博士にチャレンジ！
知ってる？防災クイズ
- 13:00～ みえの防災大賞表彰式
- 13:30～ 津市消防音楽隊による生演奏！
- 14:10～ 鈴鹿市女性消防団員による寸劇
- 14:40～ 基調講演
- 15:50～ 防災トーク

なるほど体験ゾーン

- ・防災関係車両、耐震シェルターの展示
- ・ちびっこ体験！防災ランド
- ・飲食等販売ブース
- ・地震防災に関する実演（家具固定・耐震相談）
- ・防災関連グッズ紹介ブース



●バルーンアートにより、
子どもさんに好感を持って頂きました。

- 耐震無料相談会では、パネルを見ながら減災対策の必要性の説明を行い、また、工事中工事監理の重要性について相談者の理解を得ました。



今回出展して、各参加団体との交流を持つことが出来て良かったです。防災には建築士の必要性を理解されるように、今後の活動に反映したいです。

鈴鹿支部 新開 悟弘



お知らせ

平成 23 年度 年次功労者表彰

平成23年度「年次功労者表彰」の表彰式が平成23年12月5日開催の第114回建築士事務所協会全国会長会議において執り行われました。

三重県からは、志摩支部の松森氏が表彰されました。



建築士事務所全国大会に向けて

全国大会準備委員会

実施概要案

- 大会 期 日：平成25年8月9日（金）10日（土）
- 大会 会 場：伊勢市 三重県営サンアリーナ
- 大会 テーマ：検 討 中
- 大会スローガン：検 討 中
- 大会 宣言：検 討 中
- エクスカージョン：1日神領民としての御白石持行事参加
その他視察等

西井委員長のもと平成25年の第37回全国大会《三重大会》（予定）に向けて準備を進めているところです。

第1回の報告でもありましたように、早急に決定しなければならない事項の決定に向けて作業を進めています。

今後、まず組織づくりをし、各委員会毎に役割の分担をして頂く予定です。

また、各会員様にも役割をお願いしなければならないこともあるかと思えます。

皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願い致します。

御白石持行事（平成25年8月10日（土）予定）

御木曳き行事と同様、地元の旧神領民や全国の1日神領民が宮川の河原などで集めた「御白石」を曳き、完成した真新しい御正殿の御敷地に奉納します。前回は、21万人が参加しました。

20年に1度の御正殿の御敷地内に退入る機会ですので是非参加してみても如何でしょうか

1日神領民は事前登録でございますが、約500人程を予定しております。



全国大会準備委員会名簿

委員長	西 井 洋 一
副委員長	相 原 清 安
委 員	堀 崎 萱 二
//	梶 尾 重 信
//	新 開 悟 弘
//	藤 川 啓 志
//	鳥羽谷 和 幸
//	濱 出 進 進
//	寺 本 稔 章
//	西 出 章 也
//	前 田 裕 也
事務局	谷 口 孝 夫 専務理事



視点・論点

新年おめでとうございます。新しい年を迎え、皆様の健康と更なるご活躍をお祈りいたします。

さて、昨年は東日本を襲った未曾有の大震災に世界中の人々が震撼した一年であったと思います。テレビが繰り返す大津波の映像を見ても、いまだに信じがたい悪夢のような思いがします。更に追い打ちをかけた原発事故は何十年という終息までの時間を考えると、家を失い、故郷を追われた人々の悲しみと苦悩は計り知れないものがあります。

想定外と言う震災に対する政府や東電の対応を批判をするつもりはありませんが、今回の震災や事故は、安心や安全のハードルは常に1段も2段も高くしなければならないという教訓を残したと思います。復興は始まったばかりですが、せめて一日も早く家族が一つ屋根の下で暮らせるようにしてもらいたいと願うばかりです。

一方、海外ではエジプトやリビア等の民衆の蜂起による政変で、石油の安定供給と価格の高騰など、不安要素が多くあります。

今年アメリカ、ロシア、中国、韓国といった世界に影響力を持った国の指導者が代わるという重大な年です。国内では震災の復興が始まるスタートの年、結論を迫られている沖縄の基地問題、円高、消費税率引き上げ、TPP参加交渉等問題が山積しています。

また、大阪や名古屋を中心とする地域政党の躍進で、政党再編がささやかれ始めています。長引く景気低迷で、企業・業種間の格差が広がり、就職できない若者の増加、進む高齢化など、早急に対策を講じなければ、国民の間に広がっている閉塞感打破することはできません。

将来を見据えての政策は必要です。しかし、国民が信頼や安心感を持たなければ、筆筒預金が増えるだけで消費は低迷したままです。政府には強いリーダーシップを発揮してもらいたいものです。

今年、我が事務所協会は「一般社団法人」として新たなスタートを切ります。業界を取り巻く環境は相変わらず厳しいものがありますが、努力と研鑽を重ね、昇龍の年にしたいものです。

(四日市支部 瀬川 宏)



業務用エアコン

ガス空調で
省電力 & 省エネ

効率
業界
No.1

スマート&超高効率 ヒートポンプ

GHP X AIR

GHPエグゼア

好評発売中

ガス空調GHPは
電力使用量を大幅に低減!

最新の“GHPエグゼア”は
業界NO.1省エネ!!



東邦ガス株式会社

GASMO

検索

構造からECOに取り組んだ、 サンゲツ「フロアタイル」

2011-2013

FLOOR TILE

FLOOR TILE

2011-2013

新鮮・多彩な

デザインバリエーションを展開。

高い意匠性、オリジナリティにとんだ商品ラインナップを揃えました。新柄・新色比率40.5%。

環境への配慮。

2.5mm厚タイルは、3.0mm厚タイルに比べてCO₂の排出量を約15%削減、廃棄物の削減にもつながります。

置き敷き型の

「かんたんリフォームタイル」新発売。

既設床材への重ね貼りやピールアップ施工も可能な置き敷き型のタイルです。



SANGETSU

株式会社サンゲツ <http://www.sangetsu.co.jp>

本社／名古屋店 TEL.052-564-3111

東京店 TEL:03-3474-1181
大阪店 TEL:06-6414-3311
札幌店 TEL:011-832-3111

仙台店 TEL:022-287-3765
岡山店 TEL:086-292-3300
福岡店 TEL:092-441-5181

名古屋ショールーム TEL:052-564-3225
東京ショールーム TEL:03-3505-3300
大阪ショールーム TEL:06-6347-9110

広島ショールーム TEL:082-233-3815
岡山ショールーム TEL:086-292-3300
福岡ショールーム TEL:092-441-9500

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO



キッチンに新基準、スイスイ設計。

使う人のきもちを第一に考えた新発想キッチンが誕生しました。
水も人もスイスイ流れるから、あしたにゆとりが生まれます。

水ほうき水栓



新設計のシャワーで
スイスイ洗える。

ほうきのようにパッと広がる幅広シャワーが、少ない水量で汚れを落とします。洗う空間も広いので、大きななべも広々洗えます。

すべり台シンク



水もごみも、
スイスイまっしぐら。

シンクの隅に寄せた排水口に向かって水が一直線に流れる設計です。野菜くずも一緒に押し流すので、シンクにごみが溜まりません。

らくブル親子収納



スイスイ取り出し、
スイスイ収納。

内引き出しが運動して出てくる親子のような収納です。小さな調味料から大きななべまで、必要なものをムダのない動作で取り出せます。

あしたのキッチン

CRASSO

クラッソ

TOTO津ショールーム 〒514-0801 三重県津市船頭町津興3424 電話:059-213-8282
TOTO四日市ショールーム 〒510-0891 三重県四日市市日永西2-12-6 電話:059-349-4400
営業時間:10:00~17:00 休館日:毎週水曜日(但し、祝日の水曜日は開館)、夏期休暇、年末年始
TOTOホームページ専門家コーナー COMET(コメット) www.com-et.com/

TOTO
GREEN
CHALLENGE

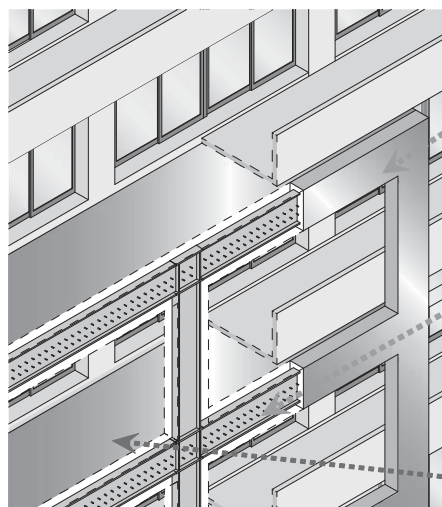
矢作建設グループには全国で2500件以上の耐震補強実績があります。

事務所・集合住宅に最適な外付け耐震補強工法 **CESRet** (セスレット)

(財) 日本建築防災協会 技術評価 建防災発第2684号



セスレットアウトフレーム 施工イメージ



バルコニー 撤去不要

YAHAGI グループは、十分な耐震性能を備えていない既設建物が万一の地震にも耐えられるよう、さまざまな研究・開発をすすめています。わたしたちは、すべての建物と命を地震から守りたいと考えています。

完全外付け施工による良好な経済性・施工性

建物を使用しながら施工が可能なので、引越しの手間が不要となり入居者の生活負担を軽減できます。また、短工期のため、重機による敷地の占用期間が少なく、さらに占用面積も最小限に抑えることができ、余分な費用を抑えられます。

外観が大きく変化しない

採光や出入り口を妨げないだけでなく、補強工事を行ったことによる圧迫感を与えません。また、補強材の表面はコンクリートなので、自由な仕上げが可能です。



矢作建設工業株式会社

www.yahagi.co.jp

本社/〒461-0004 名古屋市東区葵3-19-7
三重出張所/〒510-0068 四日市市三栄町3-14 カタオカビル405
TEL: 059-354-8581 FAX: 059-354-8582

● 申請受付場所 ●

三重県知事指定建築確認検査機関（三重県指令県土14-257号）
国土交通省中部地方整備局長登録住宅性能評価機関（中部地方整備局第8号）
長期優良住宅建築等計画に係る技術的審査機関

住宅瑕疵担保責任保険 「あんしん住宅瑕疵保険」 株式会社 住宅あんしん保証
「まもりすまい保険」 財団法人 住宅保証機構

株式会社 トータル建築確認評価センター

四日市営業所

〒510-0067

三重県四日市市浜田町4-20

JAビル7階

TEL (059) 350-8610

FAX (059) 350-8611

営業時間：午前9時～午後5時

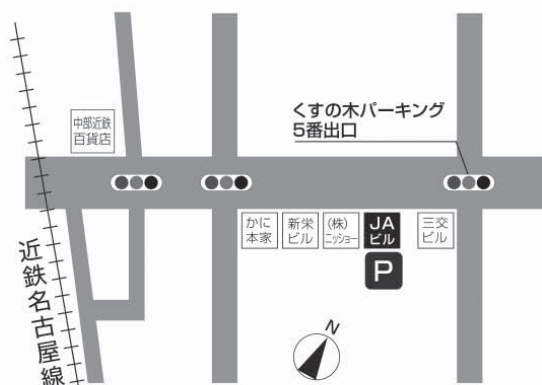
※午後12時から午後1時は昼休みとさせていただきます。

定休日：土・日・祝日及び夏期・年末年始など

※お急ぎの方は、混雑状況を事前にご確認下さい。

E-mail: yokkaichi@total-kakunin.co.jp

http://www6.cty-net.ne.jp/~total



- お車でお越しの際には、JAビル裏手の立体駐車場をご利用下さい。
一階ビルと繋がっていますので、天候の悪い日でも雨具は不要です。
- JAビル裏手の立体駐車場をご利用の上で、申請をしていただいた際には
一時間無料駐車券を差し上げます。

津営業所

〒514-0003

三重県津市桜橋2丁目177-2

三重県建設産業会館3F

TEL (059) 221-5770

FAX (059) 221-5771

営業時間：午前9時～午後5時

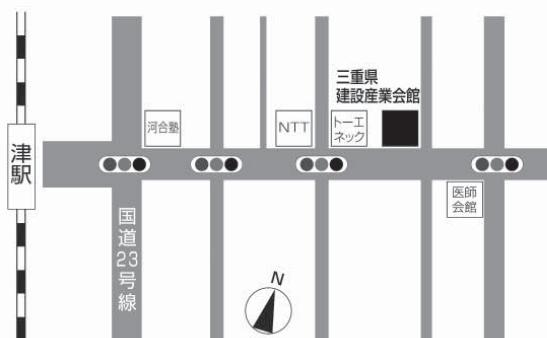
※午後12時から午後1時は昼休みとさせていただきます。

定休日：土・日・祝日及び夏期・年末年始など

※お急ぎの方は、混雑状況を事前にご確認下さい。

E-mail: tsu@total-kakunin.co.jp

- お車でお越しの際には、三重県建設産業会館の駐車場をご利用下さい。
- 会議及びイベント等開催の際は、駐車をお断りする場合がございます。



住宅から高層建築まで



日本の建築は、日本のCADがつくる。
 長期優良住宅やリフォームへの対応、日本仕様BIM『J-BIM』の実現など、
 日本国内に最適化されたシステムをご提供します。

戸建住宅設計用3次元CAD

高性能でエコなこれからの住宅設計を「Z」がオールラウンドでサポート!



ARCHITREND Z
 3次元建築設計システム【アーキトレンド Z】

リフォーム専用3次元CAD

現況調査からプラン作成、提案、耐震診断まで
 リフォーム設計業務をワンストップで!

新発売!



ARCHITREND Z
リフォームエディション
 リフォーム専用支援システム

商業建築設計用3次元CAD

設計検討からイメージ確認、プレゼン、
 図面作成までを圧倒的スピードで実現!



GLOBE
 Japanese Building Information Modeling CAD System
 BIM建築設計システム【グローブ】

無料体験版ダウンロード／資料請求はWEBで 

福井コンピュータ株式会社 www.fukuicompu.co.jp
 □名古屋営業所／〒465-0036 名古屋市名東区藤里町411 Tel.052-775-6277・Fax.052-775-8843
 □本社／〒910-8521 福井市高木中央1-2501 Tel.0776-53-9200・Fax.0776-53-9201
 札幌・青森・盛岡・仙台・郡山・新潟・長野・埼玉・高崎・水戸・宇都宮・千葉・東京・立川・横浜・静岡・名古屋・岐阜・富山・福井・京都・神戸・大阪・阪和・高松・岡山・広島・山口・福岡・長崎・大分・熊本・鹿児島・宮崎・沖縄

編集のあとがき

新年を迎え、皆様にとって良き年でありますようお祈りしています。

この二年間におきましては、広報・渉外委員全員の力に、建築士事務所キャンペーンを無事成功させ、また、会報誌をより魅力的なものへと改善させて頂く事が出来ました。

しかし、まだまだだと御批判もある事と存じますが私の至らない点が多々ありました事をどうかお許しください。

次期委員長並びに委員の方々により良くして頂ける事を願い、あとがきとさせていただきます。ありがとう御座いました。

鈴鹿支部 新開 悟弘

広報・渉外委員会

担当常任理事	國分 恵之
委員長	新開 悟弘
副委員長	瀬川 宏

各支部広報・渉外担当委員

桑名支部	和波 政博
四日市支部	林 満
鈴鹿支部	古川 悦生
津支部	山路 貴裕
松阪支部	鳥羽谷和幸
伊勢支部	和田 敏男
志摩支部	中村 政文
伊賀支部	田中 敏也
紀州支部	植松 顕哉

建事協 み え

No.95

平成24年1月 発行

発行人
編集
発行所

田 端 隆
広報・渉外委員会
社団法人 三重県建築士事務所協会
〒514-0037 三重県津市東古河町8番17号
システックビル4階

TEL 059-226-4416
FAX 059-224-9297
<http://www.sekkei-mie.jp>
